

行政事業レビューシート (環境省)

事業名	地中熱利用ヒートポンプシステムの普及促進を図るための技術開発推進事業		担当部局庁	水・大気環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～平成27年度		担当課室	地下水・地盤環境室		室長 宇仁菅 伸介		
会計区分	一般会計		施策名	3-3 水環境の保全 (海洋環境の保全を含む)				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	工業用水法 建築物用地下水の採取の規制に関する法律		関係する計画、通知等	エネルギー基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	分散型エネルギーシステムを支える大きな要素としての重要性が高まっている地中熱利用技術について、地盤環境計測技術を兼ね備えた地中熱利用ヒートポンプシステムの初期コストの低減と効率化に関する技術を確立することにより、本システムの普及を促進し、地盤環境への影響に配慮した上での未利用・再生可能エネルギー導入拡大を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	高速掘削技術、高効率の機器、地盤環境計測技術等を含むシステムの設置から維持管理全体に関して、本システムの普及が進むような価格帯を実現するためのシステム性能の向上・効率化、コストの低減に関する技術開発及び実証研究について、民間企業、公的研究機関等からの提案を募集し、外部専門家から構成される評価委員会において選定した提案課題の技術開発、実証研究を実施することにより、技術の確立と実用化を図る。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	200	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	-	-	-	-	200	
	執行額	-	-	-	-			
執行率 (%)	-	-	-	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (27年度)
	地盤環境計測技術を兼ね備えた地中熱利用ヒートポンプシステム導入コスト削減率		成果実績	%	-	-	-	20
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	新技術の開発数		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
単位当たりコスト	- (円/ )		算出根拠					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査等委託費	-	200					
計	-	200						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災以降、再生可能エネルギー(地中熱)の重要性は高まっており、地中熱利用ヒートポンプの設置台数を一層増加させるニーズは高い。</li> <li>・一方で、普及にあたっては、地盤環境への影響にも配慮する必要があるため、地盤環境計測技術等を兼ね備えた地中熱ヒートポンプ導入のコスト縮減に関する技術開発を、国が主体となって実施すべきである。</li> </ul>
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果			
予算監視・効率化チームの所見			
	地中熱利用ヒートポンプシステムの初期コスト低減に向けて、技術開発及び実証研究の効率的な実施に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	-